

【質問】ラスビック点滴静注の気をつけるべき合併症、既往歴は？

【回答】

ラスビック点滴静注キット 150mg の添付文書では、合併症や既往歴等のある患者への注意として、以下のとおり記載されています。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.1 合併症・既往歴等のある患者

9.1.1 てんかん等の痙攣性疾患又はこれらの既往歴のある患者

痙攣を起こすおそれがある。

9.1.2 重度の徐脈等の不整脈、虚血性心疾患、心不全等の心疾患のある患者

心室頻拍 (Torsades de pointes を含む)、QT 延長を起こすおそれがある。

9.1.3 重症筋無力症の患者

症状を悪化させるおそれがある。

9.1.4 大動脈瘤又は大動脈解離を合併している患者、大動脈瘤又は大動脈解離の既往、家族歴若しくはリスク因子(マルファン症候群等)を有する患者

必要に応じて画像検査の実施を考慮すること。海外の疫学研究において、フルオロキノロン系抗菌剤投与後に大動脈瘤及び大動脈解離の発生リスクが増加したとの報告がある。

出典:添付文書